

カギモンキリガ

チョウ目ヤガ科

石川県カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類

Orthosia nigromaculata (Hone)

国カテゴリー なし

選定理由

国内における生息地が限定され、個体数が少ない。

形態

開張30mm前後の中型のガである。前翅は淡褐色で後翅は黒褐色。前翅表面に特徴的なC字状の黒い紋がある。

国内分布

本州、四国、九州のほか、屋久島に分布する。

県内分布

1997年4月に小松市上荒屋で1頭が得られているに過ぎない。

生態

常緑樹林にすむ暖地性の蛾で、幼虫の食草はツルグミやナツグミである。蛹越冬で、成虫は4月から5月の春期にのみ現れる。

生息地の条件

食草であるツルグミの生育していることが重要であるが、本県での生育地は多くはない。

生存の危機

採集地近くでは、宅地化等の開発が進みつつあり、生息地の破壊が懸念される。(A, B)

特記事項

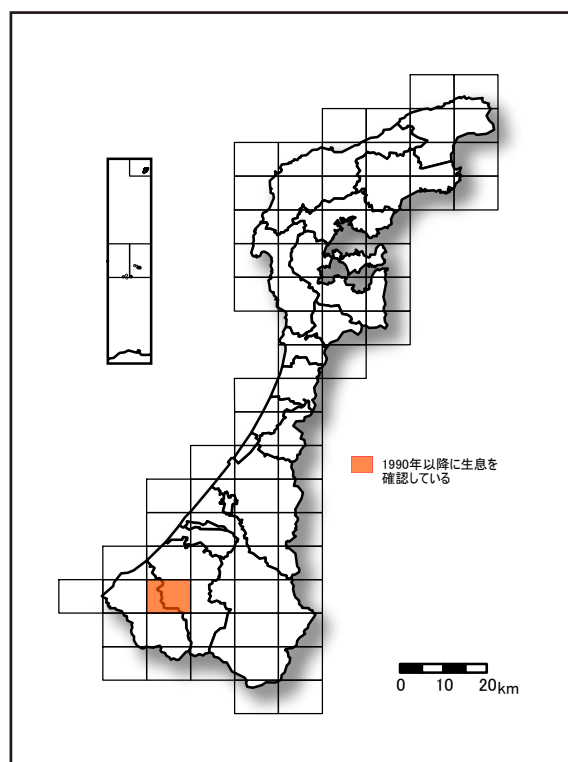
採集地周辺の分布調査が急務である。

参考文献

富沢 章 1998. 蛾類. 石川県の昆虫 : 366-486. 石川県自然保護課.



標本提供者: 富沢章



県内の分布